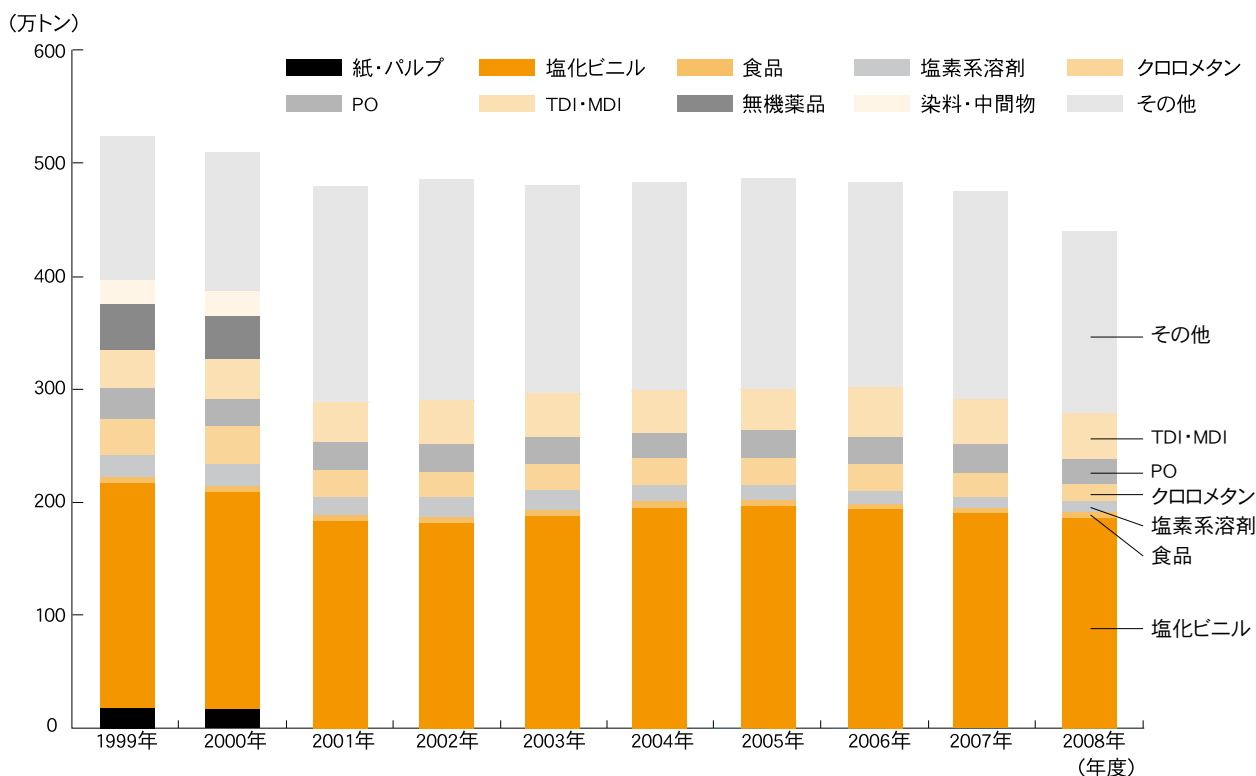


塩素の需要推移



(単位:千トン)

用途部門	年度	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
塩化ビニル		1,978	1,920	1,827	1,808	1,869	1,944	1,962	1,938	1,898	1,818
食品		56	49	47	49	54	53	48	51	47	46
塩素系溶剤		191	194	159	178	177	149	133	106	98	95
クロロメタン		316	329	243	225	224	234	235	223	237	188
PO		281	242	242	245	239	219	246	236	249	222
TDI・MDI		329	350	354	381	388	378	363	388	387	344
無機薬品		402	381	—	—	—	—	—	—	—	—
染料・中間物		218	219	—	—	—	—	—	—	—	—
紙・パルプ		180	165	—	—	—	—	—	—	—	—
その他		1,267	1,224	1,908	1,948	1,834	1,837	1,860	1,871	1,860	1,629
合計		5,218	5,073	4,780	4,834	4,785	4,814	4,847	4,813	4,776	4,342

注1) 副生塩酸、塩素誘導品の輸入を含む。

注2) 2001年度以降は、化学工業統計の一部調査項目の廃止(2002年1月実施)により紙・パルプ、無機薬品、染料・中間物向け塩素量の把握ができなくなり、その他に移行。

注3) PO: プロピレンオキシド、TDI: トリレンジイソシアネート、MDI: ジフェニルメタンジイソシアネート

この塩素需要は、8ページの塩素発生量に、注1にある通り、副生塩酸と輸入塩素を加えた塩素の総需要を、需要項目別にまとめたものです。

塩素需要の特徴は、約4割が塩化ビニル樹脂の原料として消費されることです。また、ウレタン樹脂の原料となる、POやTDI・MDI用には約1割程度が消費されており、この2種の樹脂の製造用に、実に半分以上が消費されていることとなります。

2008年度の塩素需要は、前年度に比べて、9%の減

少となりました。紙・パルプ、無機薬品、染料・中間物を含めた「その他」が12%も減少し、また、POやTDI・MDI、クロロメタン向けも二桁の減少となりましたが、これに対して、塩化ビニル向けは4%の減少に止まりました。

過去10年間を見ると、塩化ビニル向けは堅調に推移しており、塩素需要については、今後も塩化ビニルの動向が大きく影響することには変わりないようです。